

# 安全な野菜づくりを目指して土づくり

私とたい肥の出会い、平成15年11月に「うりぼう塾」でたい肥づくりの勉強に参加させていただいたことに始まります。講師(※)は三重県白山町のたい肥研究家の橋本先生で、11回ほど講義や講習を受けました。初めは難しく思っていたのですが、話の内容が面白く理にかなっていて、今まで野菜栽培で悩んでいたところの結んだ紐が解けるように解ってきました。最後の講習まで休まずに時間を忘れるほど楽しく受講できました。

実習でつくった生ゴミたい肥やもみがらたい肥を半ば信じられないまま自分の赤土の畑に撒いて野菜をつくってみたところ土壌改良材や化学肥料なしで丈夫なおいしい野菜ができました。



北勢町 植岡 敏之さん



私の畑では、ごはんたい肥とおかずたい肥を実践しています。ごはんたい肥は、育土を目的に土壌の微生物を活性化させ団粒構造をしっかり作り、水はけの良い健康な土づくり。おかずたい肥は肥料分と考えて鶏糞や牛糞の窒素分の高い物を入れ、元肥や追肥に使います。今年から、やっと自分のつくったたい肥を使用して、無化学肥料で栽培して「うりぼう」に少々ながら野菜を出荷させてもらうようになりました。畑は員弁町平古で知人の休耕田をお借りしてつくっています。

今では、塾の卒業生の代表として「うりぼうたい肥部会」の部長を仰せ付けて、生ゴミたい肥をつくっています。桑名市の「くるくる工房」と同じシステムで、一般のみなさんのご協力をお願いして衣装ケースによる生ゴミたい肥をつくっています。微力ながら、生ゴミ減量と良質たい肥生産というミニ循環型社会に取り組んでいますので、ぜひ一度のぞいてみてください。

「一度は、失敗する衣装ケースでの生ゴミたい肥づくり」。成功すると微生物を育てているといった実感が湧きます。みなさんで、楽しくワイワイとやっています。みなさんもわたしたちの仲間になってみませんか？

※橋本先生は、農業公園の園芸塾の講師をしてもらっています。

問い合わせ先 藤原庁舎 農林水産課 ☎46-6306 FAX46-6319



第1回 国勢調査の記念写真  
大安町 日下さんからの提供

## 国勢調査実施中

みなさん、調査票の記入はお済みですか？

## いなべいきいきマイタウン



6月19日、あじさいまつりで、押花教室を開催しました。

生徒さんの作品を見られた市長さんが、子どもたちと汗をふきふき、うちわ作りに挑戦されました。

なお、押絵教室は、毎月第1・3土曜日の13:00から15:30まで、ウッドヘッド三重で開催しています。世界にひとつのあなたの作品を作ってみませんか？

「花を愛し 人とのふれあいを大切に たのしく」がモットーの教室です。

提供者 北勢町 堀田さんから(☎090-3155-1770)

\*みなさまの身近なできごとをお知らせください\*

読者のみなさまから投稿をお待ちしています。また、いなべ市内で撮影された写真についても併せて募集していますので、どんどんお寄せください。



いなべ市情報誌「Link」

発行と編集 Vol.23

平成17年10月1日発行  
いなべ市役所 企画部 広聴広報課  
〒511-0293  
三重県いなべ市員弁町笠田新田111番地  
☎0594-74-5819 FAX 0594-74-5822  
<http://www.city.inabe.mie.jp>

みなさまの声を  
お聞かせください。



※古紙配合率100%  
再生紙を使用

